

大樹町

前田 拓弥

1. 歴史と概要

1.1 地名の由来

大樹町の地名の由来は、アイヌ語の「タイキウシ」からついているが、「蚕の多いところ」と、「大木の群生するところ」の二つの説があり、そのどちらかが紹介されていることが多いが、実際は、当初は「蚕の多いところ」の意味合いで町名をつけたのだが、「蚕の多い処」とはイメージとしてあまり良くないと言う事で、和語の発音通り「タイキ」＝「大樹」とそのままの地名解を付したものだと思われる。

1.2 歴史

大樹町は、1635年頃から始まった砂金堀と共に始まった。大樹市街を流れる歴舟川が太平洋に流れ込むアイボシマ地区で「浜砂金」が発見され、それを機に、一攫千金を夢見る砂金掘り師たちが集まり、集落が形成された。その後、採取場所は歴舟川をさかのぼって尾田市街近くとなり、その後、1900年以降になると、200人を超える砂金掘り師たちが詰めかけて、ゴールドラッシュ時代を迎えた。その後、1928年に広尾郡広尾村（現広尾町）から分離独立し広尾郡大樹村となる。1948年に農協が設立され、翌1949年には漁協が設立され、同49年には大樹村から忠類村を分村。1951年には大樹町制が施行され、大樹町となる。1955年に十勝郡大津村の一部を編入し、現在の大樹町となる。1989年には町の花「コスモス」・木「柏」・鳥「ひばり」が選定される。1997年に実験用航空機を用いたさまざまな飛行実験が大樹町多目的公園で行われ始め、2008年からは、岩手県大船渡市の三陸大気球観測所（1971年～2007年）において実施してきた大気球実験が、大樹航空宇宙実験場にて実施されることになり、様々な宇宙航空実験も行われている。

画像1 町の花 コスモス



出所：JA 大樹町

画像2 町の木 柏



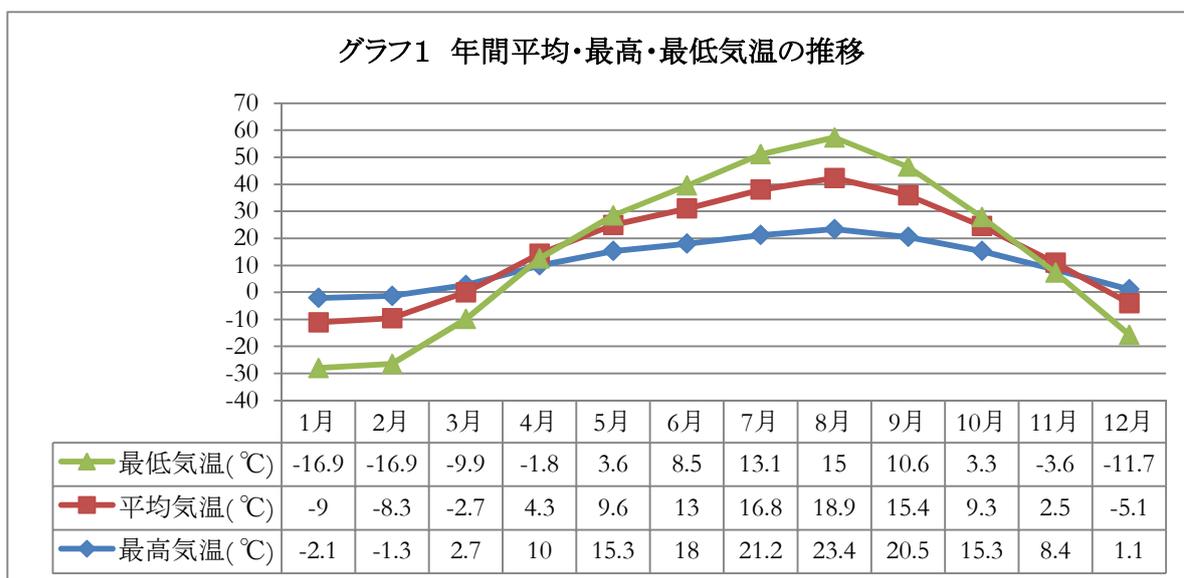
出所：十勝風景写真館

画像3 町の鳥 ひばり



出所：大樹の写真館

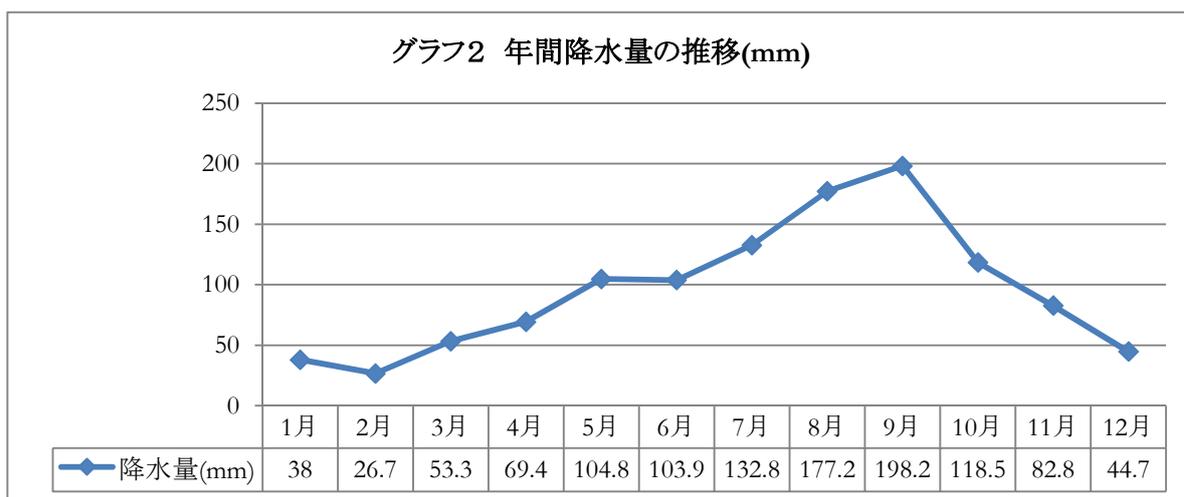
均気温は氷点下 10℃前後であり、連日氷点下 20℃以下の冷え込みが続く。歴舟川周辺ではしばしばダイヤモンドダストが見られる。冬期には短時間での気温の変動差が非常に大きくなっている。降水量は、8~10月に多くなっている。



出所：気温と雨量の統計の HP のデータ（1981~2010 平均）をもとに筆者作成

2.4 年間の降水量の推移

年間平均降水量は、95.8mm である。また、年間の降水量は、秋口にピークを迎え、9月に最大となる。



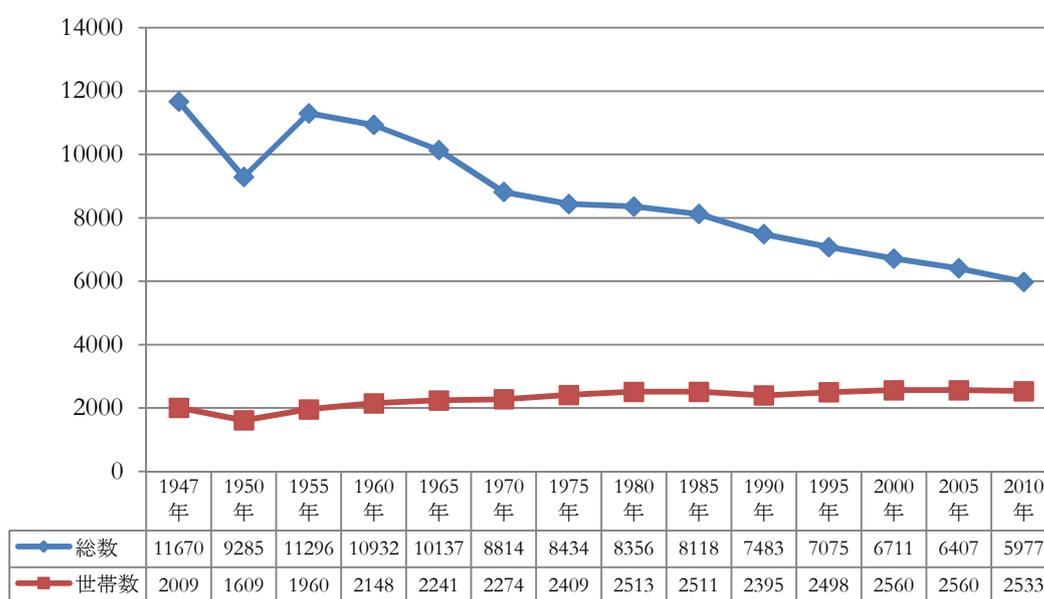
出所：気温と雨量の統計の HP のデータ（1981~2010 平均）をもとに筆者作成

3.人口・世帯数

3.1 人口数の推移

大樹町の人口は6000人弱（住民基本台帳人口の2011年12月31日では5988人）であり、世帯数は数十年間を通しておおむね横ばいであるが、総人口数は一貫して減少している。この要因として考えられるのは、若者が進学、就職で町から道内の中心都市や道外へと出ていくことであると考えられる。また、1950年の前後に人口が激減しているのは、広尾郡忠類村が大樹村から分村したためであると考えられる。

グラフ3 人口数の推移と世帯数推移



出所：国勢調査データを元に筆者作成

4.産業

4.1 産業別人口割合

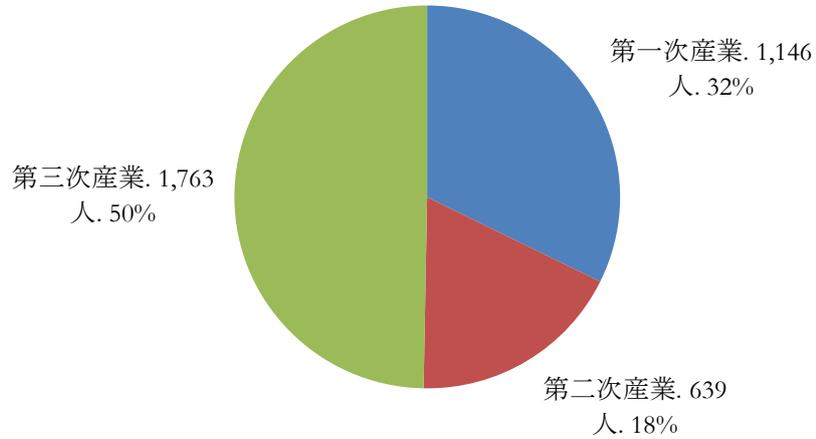
酪農王国の異名を持つ大樹町は、生産額の8割を生乳を中心とした酪農で占めている。そのため、第一次産業の割合が非常に高くなっている。雪印乳業（現メグミルク）の工場がある。2000年の雪印集団食毒事件はこの工場が生産された商品が原因で発生した。

画像5 放牧の風景



出所：JA 大樹町

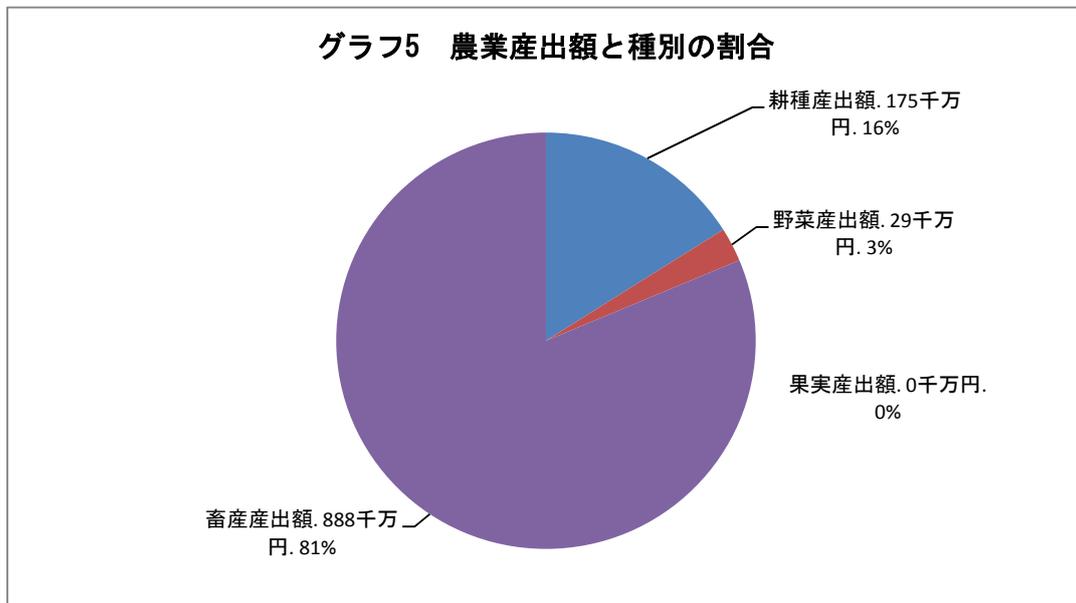
グラフ4 産業別人口割合と人数



出所：北海道経済 BANK 内のデータ(2005 年度)を参考に筆者作成

4.2 農業

大樹町では必ずしも天候に恵まれない中で、牧草、デントコーン、馬鈴薯、てん菜、大根小麦、加工スイートコーン、豆類などを輪作体制で安定した生産を行っている。その内でも、牧草とデントコーンは他の作物に比べて、圧倒的に大きい。その理由として考えられるのが、全体の 8 割を占める畜産を支える乳牛たちに与えるためであると考えられる。

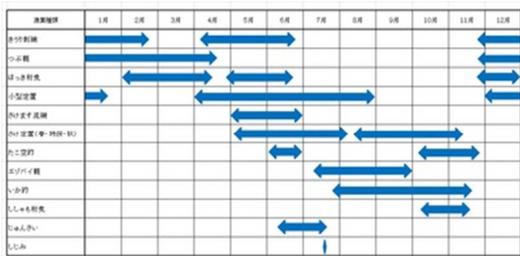


出所：統計局農業産出額 2006 年度データを元に筆者作成

4.3 漁業

大樹町の漁業は、主である秋サケの定置網漁業を始め、サケマス流し網漁、毛ガニかご漁業、つぶかご漁業、ししやもこぎ網漁業、ほっき貝のけた網漁業などがある。なかでも、秋サケ定置網漁業で漁獲された秋サケの中でも特に厳選されたハシリに獲れる銀毛のオスの中から、漁協職員が4kg以上を厳選数百から千本程度のものを『樹煌士(きこうし)』として販売されている。そして、グラフ6の通り、漁獲高の9割近くをさけが占めている。

表1 大樹町の年間漁業のサイクル



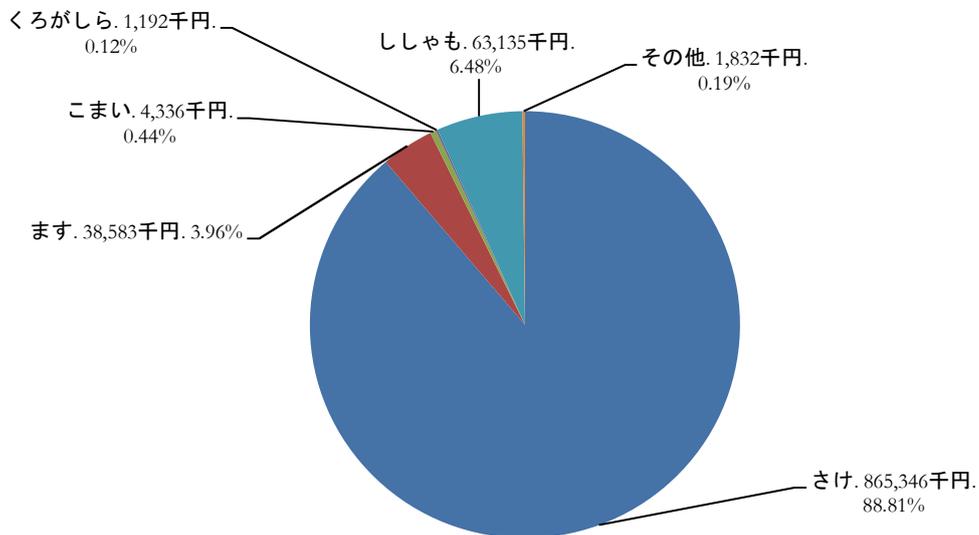
出所：大樹町漁協

画像6 特産品 樹煌士



出所：水産新聞

グラフ6 大樹町の主な水産物水揚げ漁獲高(金額)



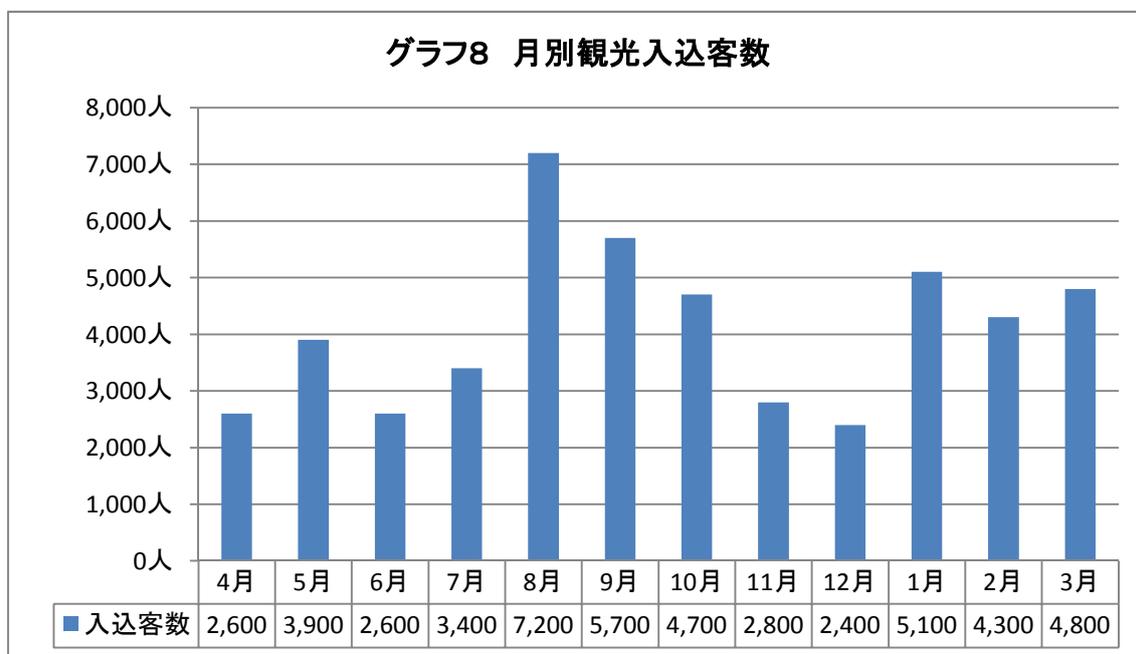
出所：北海道水産現勢・市町村別、魚種別生産高 2006年データを元に筆者作成

5. 観光・特産品

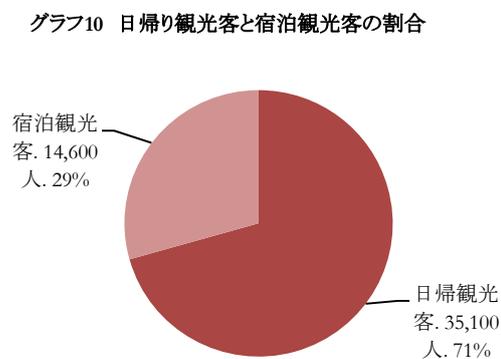
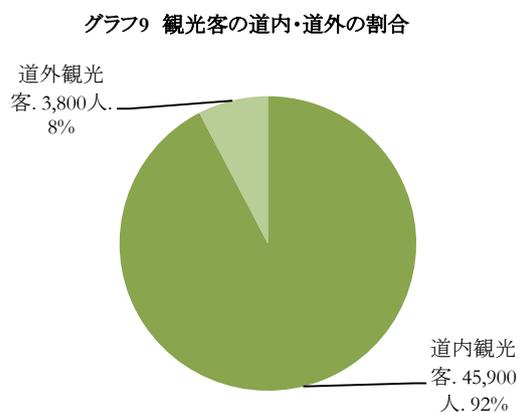
5.1 観光客の特徴

グラフ8を見てみると、大樹町への観光客は、歴舟川清流祭や柏林公園祭などの大きな

イベントのある8、9月に集中している。1月にも冬季のピークを迎えるが、その要因はわかさぎ釣りや、温泉を目当てに訪れる人が多いからである。また、グラフ9、10をみると、大樹町への観光客の大多数は道内から訪れていて、日帰り観光客が宿泊観光客の2.5倍近い値であることがわかる。



出所：2011年度観光入込客数調査結果をもとに筆者作成



出所：北海道経済調べ2007年データより筆者作成

5.2 観光名所

5.2.1 砂金堀り

大樹町では、1635年から、アイボシマ付近の海岸で行われたのが最初といわれている。アイボシマは歴舟川から流れ出た砂金が長い間に堆積したもので「浜砂金」といい、川で

採れる「川砂金」と分けていた。その後、歴舟川をはじめ、その周辺の川で盛んに砂金採取が行われ、砂金掘師たちが全国各地から一攫千金を求めて集まった。その名残を体験出来るのが砂金堀体験であり、体験料 300 円で 6 月上旬から 9 月 30 日まで体験することが出来る。

画像 7 砂金堀の様子



出所：NMH HP

5.2.2 海岸のトーチカ群

大樹町の観光名所として挙げられる一つに、旭浜のトーチカ群がある。トーチカとは、ロシア語であり、鉄やコンクリートで作られた武装した陣地のことを言う。北海道十勝支庁大樹町の太平洋を望む旭浜に、太平洋戦争末期、米軍上陸を阻止するため、旧陸軍第七師団(旭川)によって建設された建造されたコンクリート製トーチカが 8 基残っており、当時の戦況を物語っている。

画像 8 海岸のトーチカ群



出所:大樹町旭浜トーチカ群 HP

5.2.3 坂下仙峡

歴舟川の上流域にある坂下仙峡は、四季折々に色鮮やかな色彩に彩られる。鮮やかに彩られた渓谷は自然の宝庫で人気の景勝地である。

5.2.4 ホロカヤントー

ホロカヤントーは周囲 5km の海岸湖である。「ホロカヤントー」とは、アイヌ語で「後戻りして陸に戻る沼」という意味であり、周辺には原生花園が広がり、6 月から 9 月までハマナスやノハナショウブ、ガンコウランなどの花々が次々に咲き競う美しい光景が見られる。湖では釣りやボート遊びをすることができる。また、冬場に結氷すると、氷に穴をあけてワカサギ釣りをすることも可能である。

画像 9 ホロカヤントー



出所:hiraos homepage

5.2.5 柏林公園

役場の北側に広がる緑豊かな公園で、「大樹町の木」である樹齢 100 年を越える柏の木が生い茂っている。園内では、エゾリスなど

画像 10 柏林公園内の SL



出所：保存鉄道車両巡りの旅

の動物が時折姿を見せることもある。SLの展示もしている。

5.3 特産品

大樹町の特産品は、基幹産業が農業であることもあり、その多くが農業関係、とりわけ酪農関係の品が多い。中でも、大樹町の道の駅「コスモール大樹」のみで購入できる「大樹物語」はチーズの中にブラックペッパーとバジルが入っている、ほのかな風味が自慢の大樹工場限定生産の一品であり、人気商品である。その他にも、酪農家たちの手作りチーズや、新鮮な牛乳と野菜を使ったカウベルアイスクリーム、ホエー豚などがある。なお、大樹町は太平洋にも面しているので、海の幸にも恵まれており、海産加工品なども特産品となっている。

5.4 独自の取り組み

5.4.1 大樹さんいらっしやい

大樹町には、非常にユニークな取り組みをしている。それは開町70周年の記念事業の一環として始まった、「大樹さんいらっしやい」である。大樹さんいらっしやいとは、大樹という名前の方が大樹町を訪れると、町長と面会の後、町長の椅子に座らせてもらうことができ、更に、特別町民として登録されるというものであり、今日までに2000人以上!!もの大樹さんが訪れており、平成12年には、「大樹」さん命名の由来などをまとめたエピソード集も発行されている。なお、「大樹」という漢字であれば、読み方は「だいき」でも、「おおき」でも「たいじゅ」でも構わない。

5.4.2 宇宙航空産業

「宇宙のまちづくり」を標榜し、航空や宇宙分野での実験や飛行試験を積極的に誘致している。カントリーサインも滑走路を背景とした宇宙往還機らしきものとなっている。町の花「コスモス」も、英語では「宇宙」。大樹町は近未来の宇宙航空基地としても注目されている。

画像 11 道の駅コスモール大樹



出所：北海道道の駅 HP

画像 12 大樹物語



出所：大樹町 HP

5.5 大樹町の祭

5.5.1 歴舟川清流まつり

8月上旬に夏の一大イベントとして行われる。柱たいまつが山側に倒れれば五穀豊穰、海側に倒れれば豊漁と伝えられている。その壮大な情景は夏の風物詩の一つとなっている。

5.5.2 柏林公園まつり

9月の上部に行われる秋の一大まつり。大樹の味覚を満喫できる秋の産業まつり。大樹産和牛の即売をはじめ、農水産・商工バザーや、市民の手作り製品がいっぱいの一坪ショップが開催される。野外ステージでの歌謡ショー秋あじの掴み取りなど、イベントも盛りだくさんである。

5.5.3 清流鯉のぼり

4月の下旬から5月上旬におこなわれる。歴舟川を横断する国道236号線にちなみ、236匹の鯉のぼりが川幅いっぱいに泳ぐ。より近くで楽しめる子どもこいのぼりも登場し、春の風物詩になっている。

画像 13 歴舟川清流まつり



出所：とがち晴れ

画像 14 柏林公園まつり



出所：とがち晴れ

画像 15 清流鯉のぼり



出所：とがち晴れ

[参照ホームページ]

- ・大樹町 HP:<http://www.town.taiki.hokkaido.jp/>
- ・道北の釣りと旅: <http://www.kitakaido.com/index.html>
- ・気温の雨量と統計: <http://weather.time-j.net/>
- ・とがち晴れ: <http://www.tokachibare.jp/index.html>
- ・ウィキペディア: <http://ja.wikipedia.org/wiki/?keyword=V>
- ・経済 BANK : <http://www.keizai-bank.com/>

- patmap : <http://patmap.jp/CITY/>
- 北海道道の駅 HP : <http://www.hokkaido-michinoeki.jp/index.html>
- まつぼっくり通信 : <http://borealforest.blog74.fc2.com/>
- 旭浜トーチカ群 : <http://www.geocities.jp/kkktkh/sennseki/asato-tika/asato-tika.html>
- NMH : <http://www.nmhokkaido.jp/>
- 水産新聞 : <http://www.suisan.jp/>
- 大樹町漁協組合 : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/ske/osazu/oz06gok/gok033.htm>
- hiraos homepage : <http://www001.upp.so-net.ne.jp/meisaku/index.html>